

## 令和元年度第4回探鉱技術委員会(運営委員会)報告

探鉱技術委員会委員長 八木 正彦

### 開催日時・場所

令和元年11月28日(木) 14:30~16:30 伊藤忠石油開発(株)

参加者：八木委員長・白木副委員長・加藤・戸田・石本・森・国末・小林・高橋・岡本・佐藤・有坂・安河内・原 各委員、以上14名

### 議事内容

1. 定例連絡
2. 委員会体制(交代なし)
3. 分科会活動状況
  - 砂岩分科会：  
第2回 1月17日 日本堆積学会との共催開催予定  
「深海成砂岩のベッドフォーム」 大野研也 博士 (INPEX)
  - 炭酸塩岩分科会：  
第1回：11/22(金) @MOECO 開催報告  
「全球凍結の未解決問題と新原生代の炭化水素」 狩野彰宏 (東京大学)  
「トゥファ・トラバーチン組織における微生物の影響」 白石史人 (広島大学)  
「2019 Bathurst meeting 及び地質巡検の概要について」 朝田二郎 (INPEX)
  - 物探分科会：第2回講演会1~3月の開催を予定
  - 新技術分科会：第2回講演会企画中
4. 令和元年度春季シンポジウム特集号準備の進捗報告
  - 探鉱技術委員会が査読を行った9編全ての査読完了・会誌編集委員会にて受理
5. 令和2年度秋田大会地質・探鉱部門シンポジウムテーマおよび講演者選定
  - 女川層探鉱をテーマに絞り込む方針を確認
6. 令和2年度春季講演会個人講演進捗報告
  - 6月3日開催、申し込み受付開始(令和元年11月15日~令和2年2月7日)、講演要旨原稿不  
切(令和2年4月17日)
7. 令和元年度特別見学会(地質編)の実施報告
  - 11月1日に予定通り開催。参加者数：33名(内訳：一般23名、学生・院生10名)
  - ほぼ予定通りのスケジュールで無事終了(但し、チバニアン露頭には辿り着けなかった)
8. その他
  - JpGU(令和2年5月24日~28日開催)における学協会展示ブース申し込み、
  - JpGU-AGU Joint Meeting 2020 学協会セッション(ガスハイドレート)11月1日、申し込み  
完了、採択待ち。
  - 第4回微生物起源ガス研究会、テーマ「微生物起源とされる国内ガス田の概要 ―遊離ガスの  
形成に関連して―」、11月11日開催(月) 国内ガス田について、計8講演((株)地球科学総

合研究所、伊勢化学工業(株)、JX 石油開発、石油資源開発(株)、産業技術総合研究所)  
第 5 回は 3 月中旬を予定、テーマ「海外ガス田」を予定

- 石油技術協会地質・探鉱部門講演数減少とその原因の究明（説明）
- G&G 若手技術者交流会の提案 各社持ち帰って開催の検討を行うこととなった
- 石油技術協会賞選考委員の選出（2 名+1 名）

9. 次回 令和元年度第 5 回探鉱技術委員会（運営員会）

- 日程：1 月中～下旬、会場：国際石油開発帝石(株)

10. 話題提供

- タイトル：山田泰広氏 国立研究開発法人 海洋研究開発機構
- 講演者：掘削におけるデータ利用と資源開発への応用
- 参加人数：38 人

以上